

だいたい 議会報告

日本共産党
大東市議会議員団
大東市谷川1丁目1-1
議員団控室直通
TEL/FAX 871-5588

市議員 **つとむ じょうき 勉** TEL.090-3864-5037

市議員 **かつこ ともあし ともあし 勝利** TEL.090-1079-8939

市議員 **しげる とびた 茂** TEL.090-7099-8429

学校統廃合

跡地利用特別委員会委員会

9月30日、特別委員会、10月6日、合同委員会が開催され、(四条小・四条南小)統合準備委員会の経過報告が行われました。

5月26日から毎月1回行われてきた統合準備委員会では、

ことなる通学路の狭窄部分には水溜まりや、自転車通行があり、通学の安全確保上、問題があることを指摘しました。

これに対して、北門を現



- 第一回 委託状交付
- 委員長、副委員長の選任
- 委員会の運営方法等の検討
- 第二回 統合新校の学校名の事前交流行事、めざすべき学校像、教育方針の検討
- 第三回 統合新校の学校名の検討(校名を公募)
- 第四回 学校名以外の諸課題の検討(統合に向けた交流行事・跡地利用・通学路整備)
- 第五回 統合新校の学校名の検討(公募結果209名、62校名の中から5校名に絞り込まれた。「四条小・四条南小・四条中央小・新四条小・新生四条小」)

なお、次回第六回は10月27日午後7時から四条小学校会議室にて、「新校名の検討」「跡地利用・通学路整備の検討」で行われます。会議は原則公開ですが、傍聴は10名まで。(超える場合は抽選) また、市のホームページには会議の要点が公開されています。

特別委員会では、これらの報告を受けて質疑が行われ、とびた市議が質問を行いました。

特に新校の北門付近はカーブしており、視認性が悪い問題、また、野崎1・4丁目の生徒の一部が通う

議会運営委員会が視察調査

10月15日、16日、議運委の行政視察が行われ、古崎・豊芦両議員が参加。

【山口県・周南市】

△議会運営▽

議長選挙は立候補制をとっている(但し話し合い決着もある)。議会運営申し合わせ事項を作成、議員研修会を年数回、市内外の講師を招いて開催している。

同市では予算審議は常任委員会に分割付託せず、予算委員会を設置して一本で審議している。その理由は委員会によって態度が異なるため、混乱するからとのこと。また常任委員会は予算審議がない分、閉会中の「所管事務調査」を行っている。

△議会改革▽

①各種団体と議会の懇談会(ミニコン)を開催。特定のテーマを決めて商工会議所や青年会議所、障害者団体、

女性団体などの代表数名と懇談(行政は参加せず)。

② 政治倫理条例(議員と市長の不正疑惑行為の自粛、資産公開、問責制度、政治倫理審査会などを盛り込んでいる)。

【福岡県・田川市】

大東市議会では、議運委主導で「マナー条例」の制定作業中であること

新しい条例は罰則はなく、違反者の公表のみ。

田川・三井炭鉱のシンボル「2本煙突」と竪坑やぐら



法律相談
11月2日(月)7時
大東市民会館
※要予約、先着順
871-5588まで

9月議会一般質問(要旨)

豊芦 勝子 議員

先の総選挙結果では民主党中央の新しい政権が16日からスタートいたしました。日本共産党は、国民の立場でよいことは協力する、悪いことは問題点を明らかにしてきっぱり反対することを表明しております。建設的野党として国民の声が届く国会にするため頑張っております。

我が党や関係者が強く要求してきた。公立高校授業料の実質無償化について次期通常国会に関連法案を提出し、来年度からの実施を目指すことや、厚生労働省が、障害者自立支援法を廃止する意向を表明した。民主党中心の新しい政権が今後どのように関係者に答えていくか注目されている。

さて、岡本市政は新しく政権が変わったことで市民の実態をしっかりと把



握して対応していただきたい。

(一)最初に、全国一斉学力テスト公表に関していろんな問題が指摘されています。文部省が以前に実施したことがありますが、テストの事前練習が行われたり、成績の悪い生徒を当日休ませるなど、学校間の過剰競争が発生して本来行うべき教育がおろそかになるという現象が浮き彫りになりました。

にもかかわらず、全国一斉学力テストは多額の税金を投じて、06年度準備事業・07年度から09年度。全国の小学6年生、中学3年生の全児童を対象に実施され、約200億円にも上ります。しかも受験産業大手のベネッセが文科省の行う学力テストに先行して売り込みを図り、受託したことも重大な問題であります。さらに大阪の橋下知事は、市町村が非公開など自由にやるなら府教委は

解散するとか、非公開の市町村教委には府が独自に出している35人学級の子算はつけないなどの暴言を繰り返しております。

このように、多額の税金を投じて過度の競争原理を持ち込み予算配分にまで介入してくるようでは無駄遣いの典型となり、子どものためにもならない。教育委員会はどのように考えているのか。

(答弁) 教育委員会会議におきましては、正答率だけにこだわるのではなく、あくまで保護者や地域の方々とともに本市の子どもたちの学力と学習状況や生活習慣の課題を共有し、理解を得て、ともにその課題の解決に向けて取り組むことを目的として公表することを決定いたしました。

「朝ごはんを毎日きちんと食べる」「早寝早起きをする」「学校へ行く前に持ち物を確かめる」という生活習慣の定着は学習活動にスムーズに取り組めることにもつながることから、学校が各家庭に協力をさらに呼びかけるとともに、学校と家庭が連携して子どもたちの発達段階に応じた生活の習慣の確立を支援できる手だてを講じてまいります。

(二)子どもの貧困問題と教育の関連性は重要な問題であります。大東市の学力テスト結

果では、以前から指摘されているように、生活習慣と学力には深い関係があるという結果が出ています。

子どもの貧困は、生活や教育保障の権利が侵害されて、子どもの意欲、やる気までも奪われてしまっています。夢や希望が持てない、周りの大人への信頼関係を育てることができない中で子ども同士の間関係も希薄になってしまっています。昨年、大東市教育研究所は豊かな人間関係づくりについて教職員と保護者にアンケートを実施した内容・結果を見ても大東市の子どもたちの成長発達の幹がしっかりと育っていないと思えます。

教育委員会はどのようなとらえているのでしょうか。

かわりの不足からさまざまな影響が考えられます。就学援助等、行政の施策としてのさまざまな手だての充実はもちろんですが、学校教育においては、家庭の不利を子どもの不利につなげないために子どもたちの豊かな感性や確かな学力の育成に努めることでたくましく生きる力の基盤づくりを推進してまいりたいと考えております。



(二)社会教育予算のアンバランスについて質問をいたします。

岡本市長は職員削減を自慢しておられます。しかし、野崎と北条の青少年教育センターには16名の職員を張りつけており、青少年野外活動センターの委託費の10倍にもなる人件費をかけています。余りにも予算配分に差があり過ぎます。市長も教育委員会もどのように考えておられるのでしょうか。大東市には公社保有地や市の保有地があります。長年続けてきた同和行政のゆがみでもありません。市で手つかずの土地の使い道を考えたり組みとして大東の子ども

たちが元気に健やかに育つような空間を提供できないでしょうか。

(市長答弁) 青少年野外センターの運営につきましては、今民間の青少年協会という団体に運営を委託させていただいております。実はこれだけの活動をしたい、だからこれだけの予算はいただきたいというふうなことがあれば、当然適正であれば、改正をしていくというふうなことは怠りなくやっていると聞いています。

(答弁) 北条・野崎青少年教育センターの事業につきましては、検討を進めているところでございまして、17年度当初に26名でありました職員が16名まで削減されております。

さらに、先ほど土地の有効活用の件でございましてけれども、遊びは子どもたちの社会性や体力を高め、その成長に欠かせないものであると考えております。放課後、地域に帰り、地域の方に見守られる中で安心して遊べることや異年齢集団や老人の方などとのコミュニケーションを図れるような状況が大切であると考えております。地域の路地、公園、小さな空間や野原で無から有を生み出す遊びこそが遊びの原点であります。現時点では教育委員会として公社保有地等に遊具を設置して遊び空間を設ける計画段階には至っておりません。今後、市の施策の中で論議を求めていきたい。